

休業あけ集会 新たな年を迎えて、小瀬高生へのエール！

1月11日（火）に、休業あけ集会がオンラインで行われました。

校長先生からは、朝日新聞「私の折々のことばコンテスト2021」高校生部門の入賞作品を資料としてお話しがありました。紹介していただいた三つの作品は、「人との関わり」について書かれていました。その中でも、長崎県の高中生が引用した茨木のり子さんの詩（『自分の感受性くらい』）が、とても心に残りました。

小瀬高を巣立ち新たな道に進む3年生、それぞれ次の学年に進級する1、2年生に向けての力強いエールとなりました。



上段左：小瀬高生として登校する日数が少なくなってきました。新たな道に歩み出す準備期間です。（3学年）
 上段右：最上級生になる1年です。休業あけ集会での引き締まった表情が印象的でした。（2学年）
 下 段：頷きながら校長先生のお話に耳を傾けていました。十分に力を蓄えてください。（1学年）

芸術（書道）【1学年】 気持ち新たに、干支（寅）を書く！

書道の授業では、今年の干支を題材に作品を制作しました。どの作品も、とても力強く書かれており、今年一年に向けての強い気持ちが感じられました。

その他にも、様々な格言をもとに、文字の書体や配置を意識して書かれた作品が掲示されています。



生徒（1学年）が書いた、今年の干支（寅）の作品